



5年に1度開催!

和牛オリンピックに 伯耆町から12頭出場

第12回 全国和牛能力共進会 鹿児島大会

全国和牛能力共進会とは

全国和牛能力共進会（以下、全共）は、全国の優秀な和牛を一堂に集めて、和牛の改良の成果や肉質の良さなどを競う5年に一度の全国大会です。「和牛オリンピック」とも呼ばれており、今年は10月6日（木）から鹿児島県で開催されます。

全共で優秀な成績を収めることは、各都道府県の和牛のブランド力向上につながるため、出場する各都道府県・市町村にとって、まさに威信をかけた大会です。

全共の審査

全共では、3つの部、9つの区に分かれて審査が行われます。

- 種牛の部（1～6区）：雄牛・雌牛の体つきや毛並みの良さなど、改良の成果を月齢別に審査
- 肉牛の部（6～8区）：枝肉の状態で肉の重量や脂肪の質などを審査

※6区は種牛・肉牛を併せて審査する総合区
● 高校及び農業大学の部（特別区）：若手の育成を目的として今大会から新設された部

鳥取県の和牛

前回5年前の大会では、総合区の部門で肉牛が1位、総合2位を獲得し、鳥取県和牛のブランドが全国に知られるきっかけとなりました。今回の大会の同部門では「元花江」と呼ばれる雄牛の系統で日本一を目指します。

伯耆町では県や農協などと協力しながら生産農家に対してさまざまな支援をしており、今回の全共では、鳥取県代表21頭のうち県内最多の12頭が出場します。

鳥取県の代表として種牛の部10頭、肉牛の部2頭が出場します

＼ 出場される皆さんに意気込み・抱負を伺いました /



木嶋 真理子さん

4区 しばはくひめ

【抱負】

前回より、良い成績を出したい。ハンドラー（牛の引き手）として、しばはくひめの良い姿を見せられるよう頑張りたい。

木嶋 泰洋さん

4区 125ひろさかえ

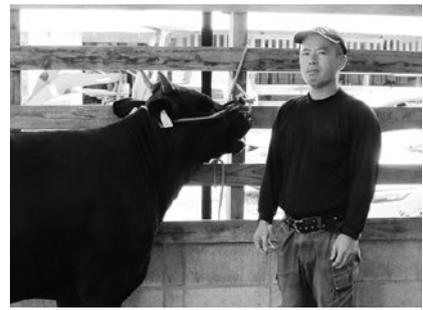
5区 りんえい34、りんえい341

6区 あやひめりりい3

【抱負】

今回で4回目の出場。全共の会場でいかに生き活きとした牛たちの姿を見せられるかを考えながら一生懸命取り組んでいる。肋張り（お腹のあたりの肋骨のある部位の大きさ）の良さや乳の豊かさが鳥取県の牛の良さであるから、その良さを出し、「和牛といえば伯耆町」と言っていただけよう挑みたい。

6区 田中 裕之さん
2区 あやだいせん
べりいはびねす



【抱負】

責任重大だと感じている。鳥取県代表として、全国に伯耆町の和牛が優秀であると認めただけよう精一杯取り組みたい。

6区 宮崎 浩樹さん
3区 なおひろら
さくら



【抱負】

鳥取県代表となり身が引き締まる思い。誕生日の同じ2頭の良い姿を見ていただき、上位入賞を目指して頑張りたい。

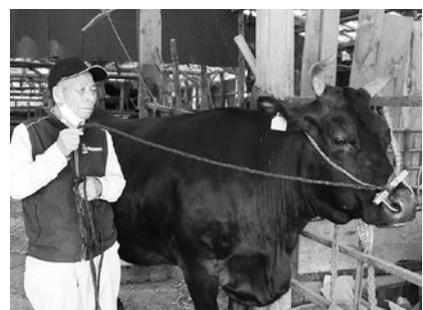
7区 前田 皓さん
6区 最幸
美津重047



【抱負】

今回が初挑戦。全共に向けて数年前から準備をしてきたため、出場できることがとても嬉しい。出場するからには日本一を目指して頑張りたい。

5区 渡邊 貞男さん
しばひめ3833



【抱負】

しばひめ3833は、性格の穏やかさと体の豊かさが特徴。50年以上牛を育てているが、こんなにも良い牛はめずらしいと感じている。今までより良い成績を取りたい。

問い合わせ先 産業課 農林室 TEL 0859-68-4212